



橋本さん、松井さんと 受益者のお母さん達・・・ コマラパのアナさんの美容室で

編集後記

●今の所 温かい冬ですが、皆さんいかがお過ごしですか？通信を作り始めたのがお正月が終わった頃でしたが、橋本さんの記事を載せたくて、出来上がりが、今になってしまいました。『百聞は一見にしかず』という言葉がぴったりのレポートでぜひ1人でも多くの人に、ボリビアをこの目で見て、活動の実際や現地の人々との交流をしていただけたらと思っています。

●私事ですが、3月に引っ越すことになりました。同じ美杉なのですが、母と同居できるようにという事で、ちょうどよい家が見つかったからです。仕事も生活もほとんど変わりありません。田舎暮らしの引越は、家財だけでなく、田や畑も移るので、後始末と準備が大事です。今までお世話になった方々や、これからお世話になる方々、どれだけ多くの人のお世話になって生きてきたんだろうと思うと、少しでも人に喜ばれる人間になって暮らしを創ってゆきたいものと改めて思っている次第です。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

kikuko

DIFAR 通信 Vol.8

ボリビア峡谷地帯における女性、子供
を中心とした農村開発事業

発行:DIFAR事務局 瀧本 規久子 発行日:2007年1月31日

〒515-3421 三重県津市八知 1383 番地

TEL・fax:050-7000-2219 携帯:090-1824-1834

E-mail:somaya.takimoto@za.ztv.ne.jp

URL: <http://ken-san.sub.jp/bolivia/>



NEWS

- ボリビアより 明けまして おめでとうございます。
- 1月15日より堆肥事業で 橋本さん、松井さんがボリビアへ
- 2006年度トイレ143基完成。合計171基建設しました。
- 2007年度の活動計画について
- 2006年度の収支報告

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。



私たち家族は今年は植林で新年を迎えました。今年4年目の活動に入ります。支援してくれている人達も4年間この活動を支えてくれているということですね。一年、一年、積み重ねていくというのを活動をしていく中で実感しています。一年目に建て

たトイレの家族がその人糞堆肥や尿を使って

「いい野菜ができた」「化学肥料や、農薬を減らせた」という声をボチボチ聞きます。

てんじくねずみを飼育している家族も「自分たちでは食べきれないから販売したい」という声も出てきました。

継続は力なり・・・と少々おこがましいかもしれないけど一年や2年ではここまではいかない。でも一年、二年とやり続けることで少しではあるけど変化が出てくる・・・。

支援者の人達にはなかなか満足していく報告や、実際の様子が出来ていないかと思いますが、どうぞ遠いポリビアの片隅での活動にこれからも心を寄せていただけたら・・・と思います。

後10日で日本から橋本さんが来られます。橋本さんの考えや、技術を多くの人に知ってもらいたいと村での会合や、講習会などを準備しています。

また橋本さんからの視点で活動を実際に見てもらいながらアドバイスがもらえたら・・・と思うし橋本さんからの活動報告も楽しみにしててください。

では、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2007年1月5日 里子

※ 写真は 長男 岳流(たける)の2歳のお誕生日を 活動地域のコマラパでカウンターパートの ネイエル夫妻と祝ったものです。

予算書・決算書(日本国内) 2006年1月1日～12月31日

収入の部(単位:円)			支出の部(単位:円)		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前期繰越金	3751814	3751814	物品購入費	20000	42775
受け取り利息	125	323	支払い手数料	10000	18550
会費	500000	367000	通信費	60000	52749
寄付金	500000	461610	旅費交通費	0	208170
団体寄付金	1500000	1427000	雑費	0	11800
商品販売(モスク)	200000	269600	商品購入(モスク)	150000	103200
商品販売(織物)	100000	8000	商品購入(織物)	50000	0
			外貨預金	120000	120000
			送金	2900000	3871726
			次期繰越金	3241939	1856377
合計	6551939	6285347	合計	6551939	6285347
収入の部(単位:ドル)			支出の部(単位:ドル)		
前期繰越金	173.47	173.47			
外貨貯蓄預金	1080.00	1026.62			
利息	25.00	16.38	次期繰越金	1278.47	1216.47
合計	1278.47	1216.47	合計	1278.47	1216.47

モスク販売 1缶・18kg入り 1万2600円 沖縄県小浜島の支援者様からの生産物です。

大体、4月頃からです。本年度分はまだ未定です。(収穫が未定のため)

織物販売 現地の受益者のお母さんたちの作品です。羊毛を染めて、織った素朴なマットです

1枚 3000円～20000円くらいです。(大きさによります)

※ 現在予約をいただいている品物は、2月下旬に橋本さん便で届く予定です。

※ お申し込みは DIFAR 事務局まで 電話、ファックス、メールをお願いします。

寄付金 1. 郵便振込み:口座名 DIFAR 口座番号 00810-1-96464

2. 郵便貯金 ぱるる:口座名 DIFAR 口座番号 12220-25078951

3. 東京三菱 UFJ 銀行:口座名 DIFAR 店番 450 口座番号:0649345

2006年度の収支報告です

予算書・決算書(ボリビア) 2006年1月1日～12月31日 単位:ドル

科目	予算	決算	科目	予算	決算
前期繰越金	-3092.07	-3092.07	給与手当	8400.00	8400.00
送金	24576.27	33076.27	プロモーター人件費	246.00	188.06
			家賃(電気代込)	1200.00	700.00
			通訳費	250.00	210.05
			旅費交通費	120.00	29.90
			車両賃料(バイク)	1200.00	1291.83
			車両管理費(保険込)	1210.00	2386.91
			燃料費	1200.00	560.83
			農業資材費	1050.00	198.51
			事務資材費	300.00	485.81
			トイレ事業費	5646.00	4954.50
			織物関連購入費	139.00	0.00
			津市助成金関連事業費		168.94
			国際ボランティア助成金関連事業費		9860.42
			予備費	300.00	
			次期繰越金	223.20	548.00
合計	21484.20	29984.20	合計	21484.20	29984.20

皆様のご協力で 支援が進んでいます。ありがとうございます。

今日の家族の安心、明日の家族の希望 ～ 地球の裏側の友人たちへ

2006年度は お蔭様で たくさんのトイレを作ることができました。トイレの必要性、そこから出来た 堆肥が活用できることは、受益者や 地域、大きく考えれば、地球環境にも 良いことが少しずつ理解され、現地の市役所の協力体制も整いつつあります。私たちのような 小さな団体で出来ることは 小さな事業です。地元の人との信頼関係が築かれていることが、何より心強いです。お一人お一人、出来るところでの 小さな支援(チョボラ)精神で よろしく お願いいたします

6

堆肥事業で 橋本さん、松井さんがボリビアに派遣！ 1月15日出発

ボリビアコンポストの旅 報告 現地育土研究所 橋本 Riquishimo(ボリビア名)

1月15日、寒い日本から雨季の夏のサンタクルスに、成田→シカゴ→マイアミ経由で松井さんと無事にサンタクルスビルビル空港へ着きました。飛行場には、里子さんとタケルちゃんが迎えに来てくださり、パブロさんご一家に温かく迎えて頂きました。3日間、サンタクルスで過ごし、町の見物や両替、買い物、CIAT に連れて行ってもらったり、大きな町であることを実感しました。乾燥した、やせた大地のボリビアのイメージとは異なりました。気候としては、沖縄のような感じです。

里子ちゃんの食事がとても美味しく感激しました。

1月19日の昼前に出発し、サマイパタ市、サンイシドロを過ぎてコマラパ村に25.4Kmの距離を4WDで走りました。翌日からはかなりハードな堆肥の講習会となりました。20日 ラハラ村 (標高2300M) エコトイレの見学、イチゴ、ニンジン、ジャガイモ畑を現地の方の紹介で見学しました。風と雨の中で草質堆肥を作りました。22日はプルキーナアリーパ村(1700M)に片道1時間で川をくるまで渡り、昼前に着きました。ニョキニョキとサボテンが茂る初めての風景にびっくりです。5kmも歩いて来てくれた人もいてとても熱心に講義と実習も聞いてくださり懸命にやってくれました。終了後、3名の農家の方がお礼を述べられ感動しました。少しは役に立てたことをうれしく思いました。

ボリビアの農家の方々はとてもまじめでよく働き、堆肥や有機栽培に関心が高く将来性があると感じました。DIFARのスタッフであるネイエル君も大変優秀な人です。

3日、サイピーナ村、24日、生ゴミ回収、農業学校の農場見学、

5日、農業学校の畜産場の養豚場で生ゴミの2次処理と床材づくりをしました。6日はコマラパから移動してサマイパタの元小学校でCIAT(熱帯農業調査研究所)とDIFARとサマイパタ市役所で企画している講習会用の堆肥作りを行いました。

54歳の私は、20日の歓迎会でワインを飲みすぎてから、腹をこわし、3日間下痢に悩まされました。パブロさんはよく面倒を見てくださり、里子さんは食事、看病、通訳、観光などきめ細かい配慮にお世話になっていることに感謝しています。

後半、有機栽培や生ゴミリサイクルに取り組んできた私の経験を生かして何らかのお役に立てたら嬉しく感じます。

今年トイレが 143 基完成しました！

2006年12月時点で 合計171基のトイレが出来ました。壮観です。協力隊時代、ボリビアのスクレで幼稚園教諭のOBの人がボリビアに残り活動を続けて10年と聞いた時はただもうびっくりして果てしない時間のように感じたけれど私たちもなんとその半分を迎えています。本当に支えてくれる人達なしには続けられない活動だけに、私も「仕事」という感覚は全然なく、「みんなの応援でやりたいことを思い切りやらせてもらっている」という毎日です。

最近はお母さん業の方が中心になってきて、活動の方は現地のスタッフに任せつつあります。実際、彼らの方が色々な対処が感覚的にやはりボリビア人同士・・・というだけあって私が入るよりスムーズな感じがするのです。

活動の方も、プルキーナアリーバ村を中心とした建設を終了し、竣工式も半分以上の村が終了しました。年内には全ての村で竣工式を終える予定です。

ただ、雨季が来てしまい、最後の最後でちょっともたついています。ラストスパートがんばろうと思います。国際ボランティア貯金の配分金からの85基は今年は早くも70基を建設終了し、こちらも年内に竣工式をする予定です。1月の15日、16日、19日で3つの村で竣工式があります。活動の方も、なんとか今年の目標を達成しつつあります。現地スタッフのネイエルくんも、大活躍してバイクで多少の事故を起しましたが、頑張っています。ボリビアはクリスマスがお正月より重要なので、私たちもカンパしあって、子供たちに送るおもちゃなどを少しでも集めたり買ったりしてその日は子供たちと楽しもうと思います。

12月6日



竣工式の様子 うれしそうですね。

2007年度 活動計画

今年の活動を描いてみました。現段階では、ファンドの確定もしていないので、あくまでも予定です。今までの活動の フォローアップというのが、今年のテーマです。



03年から建設を行ってきた143基のトイレのフォローアップをメインに考え、新規に建てるトイレの数は50基が妥当かと思いいこの数にしました。

現地の住民は、今までの生活の中ではトイレで用を足す、という習慣がなくこの習慣を変えていくにはやはり第三者が、定期的に訪問し適切なアフターケアをしていくことが重要と実感しています。また、このトイレの特徴でもある副産物の人糞堆肥の使用については今後が重要な時期でもあり、個人個人が勝手な使用方法で行わないよう指導していく必要性もあります。この課題については、現地の農業機関などと連携して専門的な知識も取り入れながら現地に適切に定着していくよう、試験栽培やデータなどをとる必要が出てくるかと思えます。

1. 143基のトイレのフォローアップ(週に一度各家庭を訪問(必要に応じ))
2. 50基のトイレ建設
3. 人糞堆肥の施肥方法を探り普及



- 販売ルート確保支援
- 家畜小屋建設支援
- 家畜購入支援
- 講習会



- 堆肥作り指導
- 堆肥作り継続支援
- 床材支援
- 講習会



- 種購入支援
- 堆肥支援
- 講習会

標高2300mにあるラハラ村です。

